

令和07年 9 月（第 3 回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 水野 忠三 議員

1 台風の接近・通過の際の対応等について問う

- (1) 台風接近時の本市における防災及び危機管理等について現状は。
- (2) 市民への避難情報や気象情報、交通情報などの提供は、どのような媒体を通じて、どのタイミングで行うか。
- (3) 高齢者や障がい者など、災害時要援護者への情報伝達や避難支援について、どのような体制がとられているか。
- (4) 台風の規模に応じた避難所の開設基準等は。
- (5) 台風通過後の道路や河川、インフラ施設（例：上水道、下水道）の被害状況を把握するための体制は。
- (6) 倒木や浸水などによる道路閉鎖などが発生した場合、迂回路の確保や早期復旧に向けた対応策は。
- (7) 市内の河川（特に五条川）の増水・氾濫に備えた対応や、警戒レベルの引上げ基準等の設定は。
- (8) 台風による被害（家屋の損壊、停電、断水など）に関する市民からの相談や通報は、どの部署が、どのような時間帯で受付けるのか。また、市が把握した被害情報と、市民からの通報との連携は。
- (9) 市民が台風に備えるための事前の啓発活動は、どのような内容で、いつ頃から実施しているか。また、非常持出袋の準備、家屋の点検、避難場所の確認など、市民に自助努力を促すための具体的な働きかけは。

2 来年の夏に向けての熱中症対策等について問う

- (1) 熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラート発表時の、市民への具体的な情報伝達方法と、その周知策について、現状及び課題認識は。
- (2) 乳幼児や高齢者、障がい者など、特に熱中症のリスクが高い方々への、きめ細やかな情報提供や声かけ支援は。
- (3) 市民一人ひとりの熱中症予防を促すため、具体的な啓発活動について、今年度の取組及び来年度に向けての計画等は。
- (4) 既存の公共施設における空調設備の点検・整備状況、及び来年度以降の更新計画等に関連して、電力消費を抑えつつ、効果的な冷房を行うための工夫等は。
- (5) 学校など、教育施設における熱中症対策（例：空調設備の導入、ミストシャワーの設置、屋外活動の制限基準など）について、現状及び来年度以降の取組予定等は。
- (6) 市の公共施設等を熱中症予防のための一時避難場所として開放する「いわくら涼みどころ」（クーリングシェルター）の設置について、今年度の取組及び来年度以降に向けての課題認識等は。

- (7) 市が発注する公共工事や清掃作業など、屋外で働く従事者への熱中症対策について、来年度の具体的な指針や取組（例：水分・塩分補給の徹底、休憩時間の確保、作業時間の調整）等は。
- (8) 夏場に市内で行われるイベントなどにおける、主催者への熱中症対策ガイドラインの提示や、救護体制の確保等について、市としての支援策は。
- (9) 過去の熱中症による救急搬送データや、市民からの相談内容をどのように分析し、来年度の対策に活かすのか。
- (10) 国や県の動向を踏まえ、岩倉市独自の熱中症対策をさらに強化していくための、今後の展望や具体的な検討事項等は。

3 障がい者の福祉及び生活自立支援等について問う

- (1) 障がい者理解の促進と地域社会の共生に関連して、障がいのある方が安心して暮らせる地域社会を築くための啓発活動等について、現状及び今後の予定等は。また、計画等について、現状及び課題認識は。
- (2) 災害時における障がい者の避難支援体制について、地域の自主防災組織や関係機関との連携等は。
- (3) 障がいのある方の社会参加及び就労機会を増やすための、事業所等と連携した支援策や、市独自の取組等は。
- (4) 障がい者が働きやすい環境を整備するため、市が率先してさらに障がい者雇用を進める考えは。
- (5) 福祉サービスの充実と質の向上に関連して、相談支援体制の現状及び課題認識は。特に、複雑なニーズを持つ方への支援について、専門的な知識を持つ相談員の確保・育成など、今後のさらなる取組等は。また、支援が必要な方に、必要な情報が行き届いていないケースがあるとの声を聞くことがあるが、情報提供の方法等を見直す考えは。
- (6) 障がいのある児童・生徒の教育環境について、教育の充実に向けての取組等は。また、障がいのあるお子さんを持つ保護者への支援について、育児の負担軽減や情報交換の場を提供するための施策等について、現状及び課題認識は。
- (7) 障がいのある児童・生徒や障がいのあるお子さんを持つ保護者への支援だけでなく、障がいのある保護者(保護者が障がいをお持ちの場合)への支援等については、どうか。

4 道路や橋の路面の整備及び維持管理等について問う

- (1) 本市内の道路・橋の路面についての定期的な点検について、現状及び課題認識は。
- (2) 点検などで損傷が確認された場合の補修計画の策定等について、現状は。また、予算の確保状況と、優先順位付けの基本的な考え方や方針等は。
- (3) 市民から道路の穴ぼこ（ポットホール）やひび割れ、段差などについての通報があった場合、どのようなフローで対応しているか。また、通報から補修完了までの標準的な期間等は。
- (4) 路面の損傷に起因する交通事故の発生状況をどのように把握しているか。また、事故防止のために、どのような対策を講じているか。

- (5) 道路や橋における事故防止・安全性向上については、今後も様々な取組等が必要と考えるが、例えば、夜間や雨天時でも路面の状況が把握しやすいよう、どのような工夫等を行っているか。
- (6) 老朽化が進む道路・橋の路面に対する、今後の長期的な維持管理計画等について、現状及び課題認識は。また、予算や人員の課題等について、どのように考えているか。
- (7) 今後の計画策定の際などに、新技術（例：AIを活用した点検システムなど）の導入等を検討すべきと考えるが、どうか。

2 片岡 健一郎 議員

1 防火水槽の耐震化状況について問う

- (1) 防火水槽の役割をどのように捉えているか。
- (2) 定期的な水質検査や設備点検はどのように実施されているのか。
- (3) 市内防火水槽の耐震化率はどのようなか。
- (4) 平成30年10月より防火水槽の簡易耐震化事業を開始したがその後の状況はどのようなか。
- (5) 防火水槽の役割、重要性を踏まえた上で、今後の具体的な防火水槽耐震化の計画をどう考えているか。

2 教育支援センターおおくすの現状と今後について

- (1) 市内小中学校における不登校の状況はどうか。
- (2) 市として不登校児童・生徒の現状をどのように把握しているか。
- (3) 教育支援センターおおくすの目的と利用状況は。
- (4) 利用状況の増加が見られるがどのように分析しているか。
- (5) 同フロアにある郷土資料館の設置経緯、利用状況はどうか。
- (6) おおくすの利用状況から鑑みて、部屋の増設の必要性を感じる。郷土資料館を移転し部屋の増設は検討できないか。
- (7) 備品の寄附やボランティアによる善意で成り立っている部分があるが予算的には充足していると考えているか。

3 お薬手帳の啓発について市の考えを問う

- (1) お薬手帳の役割とは何か。
- (2) お薬手帳を持参した場合と持参しない場合、違いはあるか。
- (3) 料金に違いがあるという事は国民健康保険の場合、岩倉市の財政にも影響があるという認識で良いか。
- (4) 医療費の適正化は財政の安定化に寄与するものとする。市民の皆様に対してお薬手帳を持参すると費用が安くなることも併せて周知してはどうか。

3 梶谷 規子 議員

- 1 有権者だれもが選挙権を行使できるように
 - (1) 参議院選挙の結果をどうみるか。
 - ① 投票所別の投票率はどうだったか。
 - ② 年齢別の投票率はどうだったか。
 - ③ 期日前投票の状況はどうだったか。
 - ④ 代理投票の状況はどうだったか。
 - ⑤ 不在者投票はどうだったか。
 - ⑥ 郵便投票はどうだったか。
 - (2) 移動期日前投票の推進を。
- 2 地球にやさしい循環型社会へ
 - (1) 生ゴミのたい肥化を積極的に。
 - ① ダンボールコンポストの拡大を。
 - ② アンケートの結果はどうだったか。どうみているか。
 - (2) プラスチック資源循環について、市民にわかりやすく周知を。
 - ① 迷っている市民にていねいな説明を。
- 3 物価高騰が続くなか、働く人たちの暮らしを守るために
 - (1) 最低賃金アップを受けて、会計年度任用職員の希望する働き方の保障をどうしていくのか。
 - (2) 総務省改正の「事務処理マニュアル」を受けて、処遇改善を。
 - (3) 中小企業、小規模事業の賃上げへの直接支援を国・県に意見を上げるべき。

4 谷平 敬子 議員

- 1 石仏公園事業におけるサッカーグラウンドの人工芝について
 - (1) 石仏公園事業において、サッカー場を人工芝とする計画になった経緯について問う。
 - (2) 人工芝は、夏場の温度上昇や摩擦によるケガのリスクが指摘されている。市は、この健康・安全面をどのように認識しているか。
 - (3) 人工芝は、マイクロプラスチックの流出の問題が指摘されている。市は、環境汚染や健康被害についてどのように認識しているか。
 - (4) 人工芝を天然芝に変える考えはあるか。
- 2 市内公共施設への「赤ちゃんの駅」設置について
 - (1) 市内の公共施設における「赤ちゃんの駅」スペースの整備状況はどのようなか。
 - (2) 特に子育て世代がよく利用する保健センター、公園、交流施設などに「赤ちゃんの駅」スペースの拡充を計画的に進めていただきたいと思うが、市の考えはどうか。

- (3) 「置き型授乳ブース」の設置についての認識はどのようなか。
- (4) 商業施設や医療機関など民間施設とも連携して登録制やステッカー掲示などで「赤ちゃんの駅」を広げていく取組についてどのように考えるか。

5 堀江 珠恵 議員

1 介護支援専門員（ケアマネジャー）の在り方について

- (1) 介護支援専門員（ケアマネジャー）の業務内容について市の見解は。
- (2) 「シャドーワーク」という言葉は知っているか。
- (3) 他の機関につなぐべきサービスと介護支援専門員（ケアマネジャー）が保険外でサービスとして対応し得るものなどに分類がされたが、この件は把握しているか。
- (4) シャドーワークに対して改善に向けた今後の方向性は。
- (5) 神奈川県横浜市を参考にリーフレットを作成し介護支援専門員（ケアマネジャー）をはじめ利用者や家族へ周知をできないか。

2 岩倉市公式LINEの新たな活用について

- (1) 公式LINEの登録者数はどれくらいか。また、登録者の年代別の集計はされているのか。
- (2) 公式LINEはどういった目的で始まったのか。
- (3) 運用を行っていくにあたって、本市としての課題はあるのか。
- (4) 高齢者の見守りは現状どのように対応されているのか。
- (5) 栃木県矢板市や千葉県我孫子市など高齢者の見守りにLINEを利用しているが、本市も導入してみてもどうか。

6 日比野 走 議員

1 竹林公園について

- (1) 竹林公園の整備背景を改めて問う。
- (2) 現在の竹林についての状況は。
- (3) 竹林公園を活かして、親水事業を含む市民参加活動を行うべきではないか。

2 投票率向上のための活動について

- (1) 前回の参議院選挙の投票率等について、これまでと比べ、どのような変化がみられたか。
- (2) 投票所等の利便性向上に向けた取組はされているか。
- (3) 政治参加意識を高めるための活動等は行われているか。
- (4) 特に、若年層の投票率向上に向けた具体的な施策は行われているか。

- (5) 選挙投票日に市内にキッチンカーを配置することで投票所周辺のにぎわいを創出しつつ、市民の関心を高められると考えるが、市としての実現可能性について見解を問う。

7 伊藤 隆信 議員

1 外国人の問題について問う

- (1) インバウンドの現状と外国人労働者の現状を問う。
- (2) 人手不足が進む中、外国人の必要性を問う。
- (3) 外国人の土地取得と本市の現状を問う。
- (4) 3Kの外国人の状況は。
- (5) 外国人犯罪を問う。
- (6) 外国人労働者の賃金の現状を問う。
- (7) 外国人の納税の現状を問う。
- (8) 今後、本市の外国人労働者や移住者の対策は。

2 平和について問う

- (1) 戦後80年、本市の平和祈念戦没者追悼式典をはじめ、平和行政の今後は。
- (2) 平和憲法のもと、精神的な豊かさや家族の絆が大切になっているが、学校での平和教育での指導を問う。
- (3) 世界で多くの紛争が続いているが、宮沢賢治は「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と後世に伝えたが、教育長に平和についての考えを問う。
- (4) 本市は「核兵器廃絶平和都市宣言」をしている。世論では戦争が今後続くと言料する中、核の問題を取り上げ、多くの支持を得ているが、改めて市長に平和と核についての考えを問う。

3 公園整備について問う

- (1) 本市の公園整備の現状等を問う。
- (2) 防災公園の取組を問う。
- (3) 南海トラフ地震の起こる確率が高まる中、消防署の防災公園内での分別収集の今後を問う。
- (4) 南海トラフ地震等の災害時のトイレ不足等、トイレパニックを問う。
- (5) 断水等給排水設備、電気設備、汚水処理施設等の機能が停止した場合の状況を問う。

4 米の現状について問う

- (1) 全国的に生産量が昨年は減少しているが、新米の状況は。
- (2) 全国的に猛暑により、水不足や病気、害虫の対策の状況を問う。
- (3) 備蓄米と新米の価格の状況は。

- (4) 米穀安定供給確保支援機構とは、機能しているのか。

8 鬼頭 博和 議員

1 ヤングケアラーの支援について

- (1) 本市のヤングケアラーに対する取組状況はどのようなか。また、愛知県との連携はあるのか。
- (2) ヤングケアラー啓発パンフレット配布後の児童・生徒の反応はどのようなか。
- (3) 教職員の気づきや対応事例の有無はどのようなか。また、教職員への研修状況は。
- (4) ヤングケアラーに関する実態調査を早期に実施すべきではないか。
- (5) 先進自治体を参考に相談体制の強化や支援者向けの研修実施など、段階的に支援策を拡充してはどうか。

2 市内公共施設の環境整備について

- (1) 岩倉駅東口バス停横のベンチに屋根の設置を。
- (2) 市役所の自転車駐車場の周辺における混雑緩和に向けた取組を。
- (3) 市内公共施設への給水スポットの設置を。
- (4) 給水スポットの設置によってペットボトルの削減、さらにはCO2の削減にもつながるが見解は。

9 塚崎 海緒 議員

1 市民の声・私の提案の運用について問う

- (1) 制度の経緯や目的は。
 - ① 制度を始めた経緯と開始時期はいつか。
 - ② 制度への投稿数と、制度から実現した政策はあるか。
- (2) 制度運用の適正に切り込む。
 - ① 要綱で定めた受付方法と実際の運用に乖離はないか。
 - ② 秘書人事課で受け付けず担当課に送る判断は、誰がどの基準で行っているのか。
 - ③ 要綱と異なった運用を行っているのではないか。
- (3) 市民への説明責任を問う。
 - ① 想いをもって投稿した市民に対し、どのように説明責任を果たしているのか。
- (4) 制度の改善に向けて。
 - ① 市民が安心して制度を利用できるよう、受付から処理までの流れを透明化すべきではないか。
 - ② 現状の運用が市民に不信感を与えているとの自覚はないか。

- ③ 制度の趣旨にそぐわない声まで担当課へ送ることで、回答作成の負担となっていないか。
- ④ 制度を本来の趣旨に沿って運用し、市民に信頼される仕組みとするために、今後どのように取り組むか。

2 差別のないまちづくりについて問う

(1) 差別的言動とヘイトスピーチへの対応について問う。

- ① 差別的言動や排外主義的な風潮、とりわけヘイトスピーチについて、市長はどのように受け止めているか。
- ② ヘイトスピーチをなくすために、市が進めている具体的な取組は何か。
- ③ 市民の中で差別事象が発生した場合の相談・救済体制はどうなっているか。
- ④ 学校教育や青少年育成の場における人権教育の取組はどうか。

(2) 啓発活動について問う。

- ① 職員・事業者・市民に向けた啓発の取組はあるか。

(3) 啓発活動の効果は。

- ① 市が実施する人権啓発活動による効果をどう把握しているか。
- ② 効果を踏まえて活動内容を見直し、強化していく考えはあるか。
- ③ 市民や団体との協働による啓発活動をどのように進めるか。

(4) 教育の機会均等について問う。

- ① 私立高等学校等授業料軽減制度の対象範囲はどのようになっているか。
- ② 外国籍や非正規雇用など、経済的に脆弱な世帯への支援をどう進めるか。
- ③ 差別のない教育機会の保障の観点から、国や県の制度に加えて、市独自の補助制度や支援の拡充をどう検討していくか。

10 井上 真砂美 議員

1 2学期の始業にあたって

- (1) 酷暑続きの夏休みであり、暑さは続いているが、児童・生徒の出欠や登校状況と現状はいかがか。
- (2) 登下校の暑さ対策はいかがか。
- (3) コロナ再流行の原因として新変異株「ニンバス」も、今まで以上に拡大する懸念があるとのことである。この対策としてどのような方策が必要か。

2 「五条川ときめき未来寄合―いわくらしやすいまちづくり―」でまとめた子どもたちの意見について

- (1) 「まちづくりについての意見」を五条っ子フェス2024で発表し、一部を新聞に投稿していた。その行動や内容をどのように捉えているのか。
- (2) 地域の方々は「五条川ときめき未来寄合」に参加し、できることに対して協力体制を築き出している。その動きをどう捉えているのか。

- (3) 子どもたちの意見が、今年度はどうつながっているのか。
- (4) 保護者・地域・行政でどのように共有化されているか。
- (5) 子どもから発信された意見をどう活かしていくのか。

3 こどもまんなかアクションにおけるAIを使った「内面重視！メタバース婚活」について

- (1) 目的・目標はどのように設定しているのか。
- (2) 参加者の個人情報はどうように確認し、守られているのか。
- (3) 仮想空間の部屋に飾られた岩倉市の写真の前で記念写真撮影やアイスブレイクのダンスが行われたと広報で紹介されているが、他にどのような活動があったのか。
- (4) 岩倉市内の写真に入り込んで、デートをするなど参加者はどのように加わっていくのか。
- (5) 参加者の満足度はいかがか。
- (6) 今後の展望はいかがか。

4 「音楽のあるまちづくり」について

- (1) ジュニアオーケストラの楽器パートに、小中学校で学習し演奏しているリコーダーや鍵盤ハーモニカ等を加えてはどうか。

11 梅村 均 議員

1 災害対策基本法、災害救助法等の改正による対応は万全か

- (1) 災害発生時の国と本市との情報共有や連携はどうように強化されるのか。
- (2) 災害発生時に国からの先制支援を受けるための具体的な手続きや、本市としての受け入れ体制はどうように整備されているか。
- (3) 在宅避難者や要配慮者（高齢者や障がい者など）への福祉サービス提供について、本市はどうような体制で支援を計画しているか。
- (4) 被災者支援を担うNPOやボランティア団体との連携を円滑に進めるため、本市独自の「被災者援護協力団体」の登録制度を導入する考えは。
- (5) 水道管の老朽化も課題となっている本市において、災害発生時の水道復旧を迅速に進めるための具体的な計画や、民間事業者との連携体制についてどうように考えているか。
- (6) 宅地の耐震化における本市の対応は。
- (7) 改正法に基づき、市民への防災意識の向上を図るため、食料やトイレなどの備蓄状況について、どうような方法で公表していく予定か。また、備蓄品は十分であると認識しているか。

2 市内各所における草刈り作業の軽減や効率化でラジコン草刈機を備えてはどうか

- (1) 都市公園、児童遊園、広場、市の先行取得地、未利用地、学校、保育園などの草刈りの現状と成果はどうようか。ラジコン草刈機を導入してはどうか。

- (2) 五条川堤防の草刈りへの導入の見解は。
- (3) 耕作放棄地や私有地での繁茂の苦情、日常的な畑やお庭等の手入れの貸し出しに備えてはどうか。

3 適度なグリーンインフラの推進を

- (1) 緑の基本計画において計画整備が進められているが、ヒートアイランド現象や内水氾濫の抑制に向け、雨水浸透や貯留機能をもつ植栽や公共空間の整備強化についてどのような考えか。
- (2) 緑の基本計画にある重点ゾーン2か所（岩倉駅～五条川・自然生態園周辺）とどのようにグリーンインフラを推進するのか。モデル路線、モデル地区とし五条川沿道も含めて整備してはどうか。
- (3) 緑化推進事業補助金の周知・活用状況はどのようなか。市民参加型の雨庭、玄関アプローチや駐車場の緑化推進を啓発してはどうか。

12 関戸 郁文 議員

1 本市におけるネイチャーポジティブ推進についての進捗を問う

- (1) 環境基本計画の生物多様性保全目標進捗はどのようなか。
 - ① 基本施策1、生物多様性への理解促進はどのようなか。
 - ② 基本施策2、自然との共生はどのようなか。
 - ③ 基本施策3、身近な地域での生物多様性の保全・創出はどのようなか。
- (2) 近隣市町の状況はどのようなか。
- (3) 環境基本計画推進における現時点の課題の解決に向けた取組はどのようなか。

2 本市における上水道事業の長期的計画について問う

- (1) 本市において県水利用が高まっているが近隣市町ではどのようなか。
- (2) 今後の自己水保有についてはどのように考えているのか。
- (3) 平成43年度(令和13年度)までに耐震化率100%を達成する目標であったが現在の進捗はどのようなか。

3 本市における市職員人件費、職員数と役割の考え方について問う

- (1) 課の職員数の基本的な考え方はどのようなか。
- (2) 正規職員と会計年度任用職員の役割分担や配置の考え方はどのようなか。
- (3) 課の職員数の基準やその決定手順はどのようなか。
- (4) 各課の工数見積もりが働き方改革へつながると思うが本市ではどのように進めているのか。

13 大野 慎治 議員

1 都市計画道路の将来計画について問う

- (1) 桜通線の2期工事はどのような計画になっているのか。
- (2) 江南岩倉線はどのようなか。
- (3) 高架橋を含む小牧岩倉線はどのようなか。
- (4) 北通線の計画はどのようなか。

2 竹林公園について問う

- (1) 竹が枯れかかっている原因は。
- (2) どのような対策を考えているのか。

3 本市における犯罪発生状況について問う

- (1) 犯罪件数の推移についてどのような分析をしているのか。
- (2) 外国人による犯罪件数、犯罪率は。

4 市役所の開庁時間の短縮について問う

- (1) 愛知県内の自治体の開庁時間の短縮についてどのようにみているのか。
- (2) 開庁時間の短縮をするべきではないか。

14 木村 冬樹 議員

1 戦後・被爆80年、平和行政のさらなる推進を

- (1) 節目の年として、今年度はどのような平和祈念事業を行ってきたのか。
- (2) 成長した「被爆アオギリ」を活用した事業は考えられないか。
- (3) 本市には平和行政に関する条例があるのか。
- (4) 核兵器廃絶、平和行政を進める条例を制定できないか。
- (5) 市長の核兵器廃絶、平和行政の推進への決意は。

2 外国人住民との多文化共生社会をどのように推進していくか

- (1) 本市における外国人住民の現状は。
- (2) 外国人は本当に優遇されているのか。
- (3) 外国人サポート窓口の相談の状況は。
- (4) 日本語教室の発展や外国人コミュニティとの交流など、多文化共生を発展させるための今後の取組は。

3 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の改善を

- (1) 助成制度の申請状況、聴力検査機器の活用状況は。
- (2) 片耳難聴の方も対象にすべきではないか。

4 子育て支援施策のさらなる充実を

- (1) 本市における合計特殊出生率の推移は。
- (2) 経済的支援策の拡充を求める。

(3) 地域における子育て環境の整備としてどのようなことができるのか。